

製品名: リン酸化CDK1/2 (Thr14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84892

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 34 kDa; Observed MW: 34 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-CDK1/2 (Thr14)
別名	CDKN2; p33(CDK2)
遺伝子 ID	983/1017
SwissProt ID	P06493/P24941
免疫原	ヒト Cdk1/2 の Thr14 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

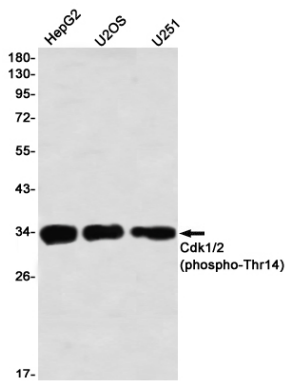
背景

Cdk2 は Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーの一員です。S. cerevisiae cdc28 および S. pombe cdc2 の遺伝子産物と高い類似性を

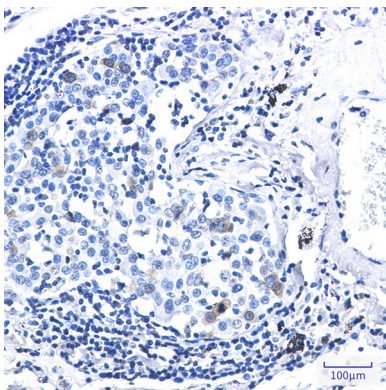
示します。Cdk2は、増殖マーカーとして有用であることが証明されている cdc2 (cdk1) と密接に関連しています。Cdk1 と Cdk2 は、M 期促進因子 (MPF) として知られる高度に保存されたタンパク質キナーゼ複合体の触媒サブユニットであり、真核生物の細胞周期における G1/S 期および G2/M 期の移行に不可欠です。

研究分野

画像データ



リン酸化 CDK1/2 (Thr14) 抗体を使用した、HepG2、U2OS、U251 溶解物中の Cdk1/2 (Phospho-Thr14) のウエスタンブロット分析。



Cdk1/2 (Phospho-Thr14) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。